

令和 8 年度

R 8 路肩整備工事（市道 2 3 3 8 号線）
工 事 設 計 書

都市整備部土木課

令和 8 年度	工事番号				課長	係長	浄書校合	設計	
工事名	R 8 路肩整備工事（市道 2 3 3 8 号線）								
路線名	市道 2 3 3 8 号線				工事場所	木更津市長須賀 1 6 5 1 － 2 番地先			
予算科目									
設計金額									
工事価格									
消費税及び地方消費税相当額									
設計説明	工事延長 L = 2 2 . 3 m H鋼土留め設置工（8 段） N = 2 4 スパン 舗装復旧 A = 6 1 m ²								
工事施行方法	請 負	工事日数	令和 9 年 2 月 2 6 日限り						

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費		式	1			
築堤・護岸		式	1			
河川・道路土工		式	1			
撤去工		式	1			
既設護岸とりこわし		m3	6			第 1 号内訳書参照
Co殻運搬工	L=4.0km	m3	6			第 2 号内訳書参照
Co殻処分工		t	13			第 3 号内訳書参照
土のう撤去	既設路肩土のう	袋	152			第 4 号内訳書参照
作業土工		式	1			
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3	14			第 5 号内訳書参照
床掘り		m3	37			第 6 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し		m3	40			第 7 号内訳書参照
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	6			第 8 号内訳書参照
発生土処分工		m3	8			第 9 号内訳書参照
土留め設置工		式	1			
H鋼杭打ち込み	H125 L=5000 腹起し材含む	本	24			第 10 号内訳書参照
吸出し防止材設置	t =10mm 9.8kN/m	m2	54			第 11 号内訳書参照
柵板設置	298×60×910	m2	52			第 12 号内訳書参照
土のう設置	終点部	m2	3			第 13 号内訳書参照
舗装工		式	1			
舗装工		式	1			
舗装版切断工	t=15cm以下	m	24			第 14 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断濁水運搬・処理		式	1			第 15 号内訳書参照
舗装版破碎		m2	30			第 16 号内訳書参照
舗装版運搬		m3	2			第 17 号内訳書参照
舗装版処分		t	4			第 18 号内訳書参照
下層路盤工	RC-40 t=200mm	m2	61			第 19 号内訳書参照
上層路盤工	MS-25 t=150mm	m2	61			第 20 号内訳書参照
表層工	再生密粒AS(13)溶融スラグ入り t=50mm	m2	61			第 21 号内訳書参照
付属施設工		式	1			
防護柵工		式	1			
転落防止柵移設	撤去再設置	m	21			第 22 号内訳書参照
仮設工		式	1			

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮締切工		式	1			
土砂土のう締切	耐候性大型土のう 下水処理場～現場～吾妻置場	袋	4			第 23 号内訳書参照
土留・仮締切工		式	1			
軽量鋼矢板	軽量鋼矢板型式:Ⅱ型 軽量鋼矢板平均長さ:3m 矢板根入長:1.5	式	1			第 24 号内訳書参照
水替工		式	1			
ポンプ排水	0以上120(m3/h)未満 10m 作業時排水	式	1			第 25 号内訳書参照
交通管理工		式	1			
交通誘導警備員		人日	20			第 26 号内訳書参照
直接工事費計		式	1			
共通仮設		式	1			
共通仮設費(積上分)		式	1			

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬費		式	1			
仮設材運搬費		式	1			第 27 号内訳書参照
技術管理費		式	1			
土質等試験費		式	1			第 28 号内訳書参照
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
純工事費		式	1			
現場管理費		式	1			
工事原価		式	1			
一般管理費等		式	1			

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格		式	1			
消費税及び地方消費税相当額		式	1			
工事費計		式	1			

第 1 号 内訳書

既設護岸とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		m3	1			第 1 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 2 号 内訳書

Co殻運搬工

L=4.0km

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 2 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 3 号 内訳書

Co殻処分工

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 (m3)		t	1			第 3 号単価表参照
計	1 t 当り					

第 4 号 内訳書

土のう撤去

既設路肩土のう

1 袋 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう工		袋	1			第 4 号単価表参照
計	1 袋 当り					

第 5 号 内訳書

掘削

土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削費 掘削		m3	1			第 5 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 6 号 内訳書

床掘り

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り		m3	1			第 6 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 7 号 内訳書

埋戻し

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し		m3	1			第 7 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 8 号 内訳書

土砂等運搬

土砂(岩塊・玉石混り土含む)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費 土砂等運搬		m3	1			第 8 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 9 号 内訳書

発生土処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
残土処分費		m3	1			
計	1 m3 当り					

第 10 号 内訳書

H鋼杭打ち込み

H125 L=5000 腹起し材含む

1 本 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
H鋼杭打ち込み	腹起し・ボルト・ナット・ワッシャー含む	本	1			第 9 号単価表参照
計	1 本 当り					

第 11 号 内訳書

吸出し防止材設置

t =10mm 9.8kN/m

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
吸出し防止材設置		m2	1			第 10 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 12 号 内訳書

柵板設置

298×60×910

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横矢板設置		m2	1			第 11 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 13 号 内訳書

土のう設置

終点部

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう積工	発生土	m2	1			第 12 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 14 号 内訳書

舗装版切断工

t=15cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断		m	1			第 13 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 15 号 内訳書

舗装版切断濁水運搬・処理

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水処理費	分析費含む	kg	41			
現場発生品及び支給品積込・荷卸	ドラム缶込み	t	0.04			第 14 号単価表参照
現場発生品及び支給品運搬	ドラム缶込み	t	0.04			第 15 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 16 号 内訳書

舗装版破碎

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破碎積込（小規模土工）		m2	1			第 16 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 17 号 内訳書

舗装版運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 17 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 18 号 内訳書

舗装版処分

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 (t)	AS廃材処分費	t	1			第 18 号単価表参照
計	1 t 当り					

第 19 号 内訳書

下層路盤工

RC-40 t=200mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤（歩道部）	RC-40	m2	1			第 19 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 20 号 内訳書

上層路盤工

MS-25 t=150mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤（歩道部）	鉄鋼スラグ 粒調MS-25	m2	1			第 20 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 21 号 内訳書

表層工

再生密粒AS(13)溶融スラグ入り
t=50mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（車道・路肩部）	再生密粒As(13)溶融スラグ入り	m2	1			第 21 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 22 号 内訳書

転落防止柵移設

撤去再設置

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵（横断・転落防止柵）設置工		m	1			第 22 号単価表参照
防護柵（横断・転落防止柵）撤去工		m	1			第 23 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 23 号 内訳書

土砂土のう締切

耐候性大型土のう
下水処理場～現場～吾妻置場

1 袋 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂防大型土のう仮締切	製作・設置	袋	1			第 24 号単価表参照
砂防大型土のう仮締切	撤去	袋	1			第 25 号単価表参照
積込（ルーズ）	小規模	m3	1			第 26 号単価表参照
土砂等運搬	下水処理場～現場	m3	1			第 27 号単価表参照
土砂等運搬	現場～吾妻置場	m3	1			第 28 号単価表参照
計	1 袋 当り					

第 24 号 内訳書

軽量鋼矢板

軽量鋼矢板型式:Ⅱ型

軽量鋼矢板平均長さ:3m 矢板根入長:1.5

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
打込費 軽量鋼矢板打込工		枚	90			第 29 号単価表参照
ハイクロハンマ引抜費 軽量鋼矢板引抜工		枚	90			第 30 号単価表参照
軽量鋼矢板材料費 軽量鋼矢板損料	Ⅱ 型	式	1			第 31 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 25 号 内訳書

ポンプ排水

0以上120(m3/h)未満 10m 作業時排水

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ポンプ設置撤去費 ポンプ設置・撤去		箇所	1			第 32 号単価表参照
排水ポンプ運転費 ポンプ運転		日				第 33 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 26 号 内訳書

交通誘導警備員

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員費 交通誘導警備員 B		人日	1			第 34 号単価表参照
計	1 人日 当り					

第 27 号 内訳書

仮設材運搬費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材運搬費 仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、 敷鉄板等) 往復	t	1.1			第 35 号単価表参照
仮設材積込・取卸費 仮設材等の積込み取卸し費		t	1.1			第 36 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 28 号 内訳書

土質等試験費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土質等試験費 土質等試験費（一式入力）		式	1			第 37 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 1 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	昼間 機械施工 制約無	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 1 無筋構造物
 J03 時間的制約の有無 = 1 無し
 J05 低騒音・低振動対策 = 1 必要

J02 工法区分 = 1 機械施工
 J04 夜間作業の有無 = 1 無し

第 2 号 単価表 殻運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	1 0 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 1
J03 DID区間の有無 = 2
J13 費用の内訳 = 1

コンクリート(無筋) 構造物とりこわし
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 1
J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 3 5.7km以下

機械積込

第 3 号 単価表

処分費 (m3)

100 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋 C o 処分費	君津	t	100			
計	100 t 当り					
	1 t 当り					

SWB020051

第 4 号 単価表

土のう工

100 袋 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 袋 当り					
	1 袋 当り					

SWB252610

J01 作業内容 = 3

撤去

第 5 号 単価表

掘削

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1
J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 6 号 単価表 床掘り 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1

J05 費用の内訳 = 1

土砂
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 7 号 単価表

埋戻し

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
ランマ	質量6 0～8 0 k g	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 7 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当 り					

SCB210410

J01 施工方法 = 5

J04 費用の内訳 = 1

上記以外（小規模）

全ての費用

J02 土質 = 1

土砂

第 8 号 単価表 土砂等運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

小規模

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)

有り

第 9 号 単価表

H鋼杭打ち込み

腹起し・ボルト・ナット・ワッシャー含む

1 本 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕	排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m3	%	K1			
大型ブレーカ(ベースマシン含まず)〔油圧式〕	質量600～800kg級	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
H鋼杭	H125×125×7×9	%	Z1			
軽油		%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 9 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 本 当 り					

SCB321710
J01 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 10 号 単価表 吸出し防止材設置 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
材料構成比		%	Z			
吸出し防止材		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB224720

第 11 号 単価表

横矢板設置

10 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
矢板	柵板(910×298×60)	枚	36.87			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB251970

J01 作業区分 = 1

設置

J02 横矢板の厚さ（実数入力）[m] = 0.06

第 12 号 単価表

土のう積工

発生土

10 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう	6 2 × 4 8 c m	袋	170			
普通作業員		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB252620

J01 作業区分 = 1

小口並べ

J02 作業内容 = 2

仕拵・積立

第 13 号 単価表

舗装版切断

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレート径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

SCB430510			
J01	舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02 アスファルト舗装版厚 = 1
J05	費用の内訳 = 1	全ての費用	15cm以下

第 14 号 単価表

現場発生品及び支給品積込・荷卸

ドラム缶込み

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2. 9 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 t 当り					

SCB010420
J01 トラック機種 = 1

クレーン装置付2t積、吊能力2.9t

第 15 号 単価表

現場発生品及び支給品運搬

ドラム缶込み

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2. 9 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 t 当り					

SCB010410

J01 トラック機種 = 1

J04 片道運搬距離 (km) DID有 = 4

クレーン装置付2t積、吊能力2.9t

7.0km以下

J02 DID区間の有無 = 2

有り

第 16 号 単価表 舗装版破碎積込（小規模土工）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [標準]	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.13m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB210720
J01 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 17 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 4

J10 運搬距離 (km) (DID区間有) = 7 4.5km以下

機械積込 (小規模土工)

第 18 号 単価表

処分費 (t)

AS廃材処分費

100 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		t	100			
計	100 t 当り					
	1 t 当り					

SWB020052

第 19 号 単価表

下層路盤（歩道部）

RC-40

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コ ンパインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 200

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 20 号 単価表

上層路盤（歩道部）

鉄鋼スラグ 粒調MS-25

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コン パインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
路盤材		%	Z1			

※施工パッケージ単価

第 20 号 付属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 150

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 7

路盤材（各種）

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 21 号 単価表

表層（車道・路肩部）

再生密粒As(13)溶融スラグ入り

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 1.4～3.0 m	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式]	運転質量 3～4 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 3～4 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

※施工パッケージ単価

第 21 号 付属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
アスファルト混合物		%	Z1			
アスファルト乳剤	P K－3 プライムコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 3

J05 材料 = 35

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m以上3. 0m以下

各種 (2. 30以上2. 40t/m3未満)

全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 22 号 単価表

防護柵（横断・転落防止柵）設置工

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工 土中 建込用	ビーム式・パネル式	m	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SWB810760

J01 施工区分 = 1	土中建込	J02 防護柵種類 = 1	ビーム式・パネル式
J03 支柱間隔 = 4	3m	J04 根巻きコンクリートの有無 = 1	無
J05 施工規模による加算 = 3	50m未満	J07 夜間作業の補正 = 1	無

第 23 号 単価表

防護柵（横断・転落防止柵）撤去工

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵撤去工 土中 建込用	ビーム式・パネル式	m	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SWB810770

J01 施工区分 = 1	土中建込	J02 防護柵種類 = 1	ビーム式・パネル式
J03 支柱間隔 = 4	3m	J04 時間的制約を受ける場合の補正 = 1	無
J05 夜間作業の補正 = 1	無		

第 24 号 単価表

砂防大型土のう仮締切

製作・設置

10 袋 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
耐候性大型土のう	容量 1 m3	袋	10			
バックホウ（クローラ型）運転		日				第 38 号単価表参照
諸雑費（率＋まるめ）		式				
計	10 袋 当り					
	1 袋 当り					

SWB331360

J01 作業内容 = 1

製作・設置

J02 袋詰土区分 = 2

流用土

第 25 号 単価表

砂防大型土のう仮締切

撤去

10 袋 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
バックホウ（クローラ型）運 転		日				第 39 号単価表参照
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 袋 当り					
	1 袋 当り					

SWB331360

J01 作業内容 = 4

撤去

第 26 号 单価表

積込 (ルーズ)

小規模

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第２次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210020

J01 土質 = 1

土砂

J02 作業内容 = 4

小規模（標準）

第 27 号 単価表

土砂等運搬

下水処理場～現場

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 7

小規模
土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
4.5km以下

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
有り

第 28 号 単価表

土砂等運搬

現場～吾妻置場

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J13 運搬距離 (km) (DID区間無) = 4 2.5km以下

小規模

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

2.5km以下

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 1

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)

無し

第 29 号 単価表

軽量鋼矢板打込工

10 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
電動式バイプロハンマ杭打機 運転		時間				第 40 号単価表参照
発動発電機 [ディーゼルエン ジン駆動]	排出ガス対策型 (第1次) 17/20kVA	日				第 41 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	10 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB251010

J01 矢板の長さ (L) (実数入力) [m] = 3
 J03 矢板の種類 = 1 軽量鋼矢板250mm
 J05 粘性土根入長 (L2) (実数入力) [m] = 0
 J07 粘性土加重平均N値 (N2) (実数) = 0
 J09 作業条件 (作業難易度) = 2 普通
 J11 作業条件 (施工規模) = 1 100枚未満
 J13 使用電源 = 1 発動発電機

J02 矢板根入長 (t) (実数入力) [m] = 1.5
 J04 レキ質・砂・砂質土根入長 (L1) (実数) [m] = 1.5
 J06 レキ質・砂・砂質土加重N値 (N1) (実数) = 30
 J08 作業条件 (障害の程度) = 2 なし
 J10 作業条件 (足場の状況) = 2 普通
 J12 トラッククレーンの有無 = 2 無
 J14 杭打機供用日当り運転時間 = 1 標準

第 30 号 単価表

軽量鋼矢板引抜工

10 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
電動式バイブロハンマ杭打機 運転		時間				第 40 号単価表参照
発動発電機 [ディーゼルエン ジン駆動]	排出ガス対策型 (第1次) 17/20kVA	日				第 41 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	10 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB251020

J01 矢板の長さ (L) (実数入力) [m] = 3
 J03 矢板の種類 = 1 軽量鋼矢板250mm
 J05 粘性土根入長 (L2) (実数入力) [m] = 0
 J07 作業条件 (作業難易度) = 2 普通
 J09 作業条件 (施工規模) = 1 100枚未満
 J11 使用電源 = 1 発動発電機

J02 矢板根入長 (t) (実数入力) [m] = 1.5
 J04 レキ質・砂・砂質土根入長 (L1) (実数) [m] = 1.5
 J06 作業条件 (障害の程度) = 2 なし
 J08 作業条件 (足場の状況) = 2 普通
 J10 トラッククレーンの有無 = 2 無
 J12 杭打機供用日当り運転時間 = 1 標準

第 31 号 単価表

軽量鋼矢板損料

Ⅱ型

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（軽量矢板） 軽量型（2型、3型）	基礎価格	t	1.1			
鋼矢板（軽量矢板） 軽量型（2型、3型）	90日以内	t	17.6			1.1*16
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1式 当り					

SWB250170

J01 名称 = 1

鋼矢板賃料

第 32 号 単価表

ポンプ設置・撤去

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転		日				第 42 号単価表参照
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 箇所 当り					

SWB252320

第 33 号 単価表

ポンプ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
工事用水中ポンプ運転		日				第 43 号単価表参照
発動発電機運転		日				第 44 号単価表参照
諸雑費（率＋まるめ）		式				
計	1 日 当り					

SWB252310

J01 排水量区分 = 1
J03 排水方法 = 1

0以上120 (m3/h) 未満
作業時排水

J02 全揚程 = 1

10m

第 34 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 35 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

往復

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分 A	製品長12m以内 10kmまで	t	2			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1 関東・中部・近畿
 J04 製品長区分 = 1 12m以内
 J06 運搬割増率 (実数入力) = 1

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 4
 J05 運搬割増率 = 4 各種 (実数入力)
 J07 その他の諸料金の有無 = 2 無

第 36 号 単価表

仮設材等の積み取り卸し費

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積み、取り卸し費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積み、取り卸し（往復分）

第 37 号 単価表

土質等試験費（一式入力）

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土質等試験費		式	1			
計	1 式 当り					

SWB010370

J01 土質等試験費（千円）[千円] =

第 38 号 単価表

バックホウ（クローラ型）運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
バックホウ（クローラ）[標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK330220

J01 作業内容 = 1

製作・設置

第 39 号 単価表

バックホウ（クローラ型）運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
バックホウ（クローラ）[標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK330220

J01 作業内容 = 4

撤去

第 40 号 単価表

電動式バイブロハンマ杭打機運転

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
バイブロハンマ（単体）〔電動式・普通型〕	1 0 8 ～ 1 2 7 k N 1 5 k W	時間				
クローラクレーン〔機械駆動ウィンチ・ラチスジブ〕	1 6 t 吊	時間				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 時間 当り					

SWK250200

J01 使用電源 = 1

発動発電機

J02 杭打機供用日当り運転時間 = 1 標準

第 41 号 単価表

発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]

排出ガス対策型 (第1次) 17/20kVA

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L				
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	排出ガス対策型 (第1次) 17/20kVA	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SK1510026

J01 機械使用条件コード = 0

J03 機械損耗部品補正 = 1 普通

J05 交替制による割増し = 1 交替制を適用しない

J07 基礎価格補正 = 1 しない

J09 運転日当り運転時間[時間] = 5.9

J02 岩石割増しコード = 1

J04 供用日当り運転日数[日] = 0

J06 異常補正 = 0

J08 輸送補正 = 1

岩石工の割増対象にしない

しない

第 42 号 単価表

バックホウ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
バックホウ（クローラ）〔標準・クレーン機能付き〕	山積0.8m3（平積0.6m3）2.9t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250540

第 43 号 単価表

工事用水中ポンプ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事用水中モータポンプ [普通型]	潜水ポンプ 口径 200mm 全揚程 10m	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250400

J01 排水量区分 = 1

0以上120 (m³/h) 未満

J02 全揚程 = 1

10m

J03 排水方法 = 1

作業時排水

第 44 号 単価表

発動発電機運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軽油		L				
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	4 5 k V A	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250410

J01 排水量区分 = 1

0以上120 (m3/h) 未満

J02 全揚程 = 1

10m

J03 排水方法 = 1

作業時排水

R8路肩整備工事(市道2338号線)

市道2338号線 / 木更津市長須賀1651-2番地先

数 量 計 算 書

木更津市 都市整備部 土木課

数量総括表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量	数量	備考
	土工							
		舗装工						
			舗装版切断工	AS t=50mm	m	24	24.2	
			汚泥運搬処理	L=6.7km	kg	41	41.1	
			AS舗装版破碎	t=50mm	m2	30	30.4	
			AS舗装殻運搬工	L=4.0km	m3	2	1.5	
			AS舗装殻処分工		t	4	3.5	
			下層路盤工	RC-40 t=200	m2	61	61.4	
			上層路盤工	MS-25 t=150	m2	61	61.4	
			表層工	再生密粒度AS t=50	m2	61	61.4	
	撤去工							
		撤去工						
			既設コンクリート取壊し	無筋 機械施工	m3	6	5.5	既設護岸
			Co殻運搬工	無筋 L=4.0km	m3	6	5.5	
			Co殻処分工		t	13	12.9	
			土のう撤去		袋	152	152	
	土留め工							
		作業土工						
			掘削		m3	14	13.6	
			床掘	小規模土工	m3	37	36.6	
			埋戻し	発生土	m3	40	39.5	
			発生土運搬工	L=15.9km	m3	6	6.3	
			発生土処分工		m3	8	7.6	
		土留め工						
			H鋼杭設置工	H-125x125x7/9	本	24	24	
			吸出し防止材設置	t=10mm	m2	54	53.6	
			柵板取付工	910x298x60	m2	52	52.4	
			土のう設置		m2	3	2.8	終点部
	付属施設工							
		防護柵工						

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量	数量	備考
			転落防止柵	撤去・再設置 H=1100	m	21	21.0	既設流用
	仮設工							
		仮締切工						
			大型土のう		袋	4	4	
			大型土のう運搬		m3	4	4	
		水替え工						
			水替え工		式	1	1	
		仮設土留め工						
			仮設土留板設置撤去		式	1	1	
		交通管理工						
			交通誘導警備員B		人日	20	20	

数量計算書

名 称	規 格	算 式	単位	数 量	備 考
路肩整備工事		【No.0～No.2+2.3】 $L = 22.3 \text{ m}$			
舗装工					
舗装版切断工	As舗装	$L = 22.3 + 1.9 = 24.2 \text{ m}$	m	24.2	t=5cm
汚泥運搬処理	L=6.7km	$W = 24.20 \times 0.0017 \times 1000 = 41.1 \text{ kg}$ (株式会社 袖ヶ浦市南袖23-8 L=6.7kmに運搬)	kg	41.1	
舗装版破碎	AS	$A = 30.4 \text{ m}^2$ (別添 集計表より)	m ²	30.4	t=5cm
As舗装殻運搬	L=4.0km	$V = 30.4 \times 0.05 = 1.5 \text{ m}^3$ (有限渡辺産業 袖ヶ浦市神納1802-1 L=4.0kmに運搬)	m ³	1.5	
As舗装殻処分		$W = 1.5 \times 2.35 = 3.5 \text{ t}$	t	3.5	
下層路盤工	RC-40	$A = 61.4 \text{ m}^2$ (別添 集計表より)	m ²	61.4	t=200mm
上層路盤工	MS-25	$A = 61.4 \text{ m}^2$ (別添 集計表より)	m ²	61.4	t=150mm
表層工	再生密粒度AS13mm	$A = 61.4 \text{ m}^2$ (別添 集計表より)	m ²	61.4	t=50mm
撤去工					
既設コンクリート取壊し	無筋	$V = \frac{H}{1.0} \times \frac{B}{0.35} \times \frac{\%}{0.7} \times 22.3$ $= 5.5 \text{ m}^3$	m ³	5.5	既設護岸
コンクリート殻運搬	無筋 L=4.0km	$V = 5.5 \text{ m}^3$ (有限渡辺産業 袖ヶ浦市神納1802-1 L=4.0kmに運搬)	m ³	5.5	
コンクリート殻処分	無筋	$V = 5.5 \times 2.35 = 12.9 \text{ t}$	t	12.9	
土のう撤去		$N = 22.3 \times \frac{H}{0.4} \times \frac{\text{袋/m}^2}{17} = 152 \text{ 袋}$	袋	152	既設法留
土留め工 作業土工					
掘削		$V = \frac{\text{集計表より}}{15.1} - \frac{AS}{1.5} = 13.6 \text{ m}^3$	m ³	13.6	
床掘	小規模	$V = \frac{\text{集計表より}}{42.1} - \frac{Co}{5.5} = 36.6 \text{ m}^3$	m ³	36.6	
埋戻し	発生土	$V = \frac{\text{集計表より}}{39.5}$	m ³	39.5	
発生土運搬	L=15.9km	$V = \frac{\text{掘削}}{13.6} + \frac{\text{床掘}}{36.6} - \frac{\text{埋戻し}}{39.5} / 0.9$ $= 6.3 \text{ m}^3$	m ³	6.3	
		(株式会社 KCM 袖ヶ浦市川原井字南用瀬286番ほか L=15.9kmに運搬)			

名 称	規 格	算 式	単位	数 量	備考
発生土処分		$V = 6.3 \times 1.2 = 7.6 \text{ m}^3$	m3	7.6	
土留め工					
H鋼杭設置工	H-125x125x7/9	N = 24 本	本	24	
吸出し防止材設置	t=10mm	$A = 0.93 \times \overset{H}{2.4} \times \overset{スパン}{24} = 53.6 \text{ m}^2$	m2	53.6	
柵板取付工	910x298x60	$A = 0.91 \times \overset{H}{2.4} \times \overset{スパン}{24} = 52.4 \text{ m}^2$	m2	52.4	
土のう設置工		$V = \overset{H}{1.60} \times \overset{L}{1.75} = 2.8 \text{ m}^2$	m2	2.8	終点部
付属施設工					
転落防止柵	撤去・設置	L = 21 m	m	21	
仮設工					
大型土のう	製作・設置・撤去	N = 4 袋	袋	4	仮締切
大型土のう運搬		$V = 4 \times 1 = 4 \text{ m}^3$	m3	4	
水替え工		N = 1 式	式	1	
仮設土留板設置撤去	軽量鋼矢板		式	1	
		$N = 22.3 / 0.25 = 90 \text{ 枚}$			Ⅱ型
		3回転用 $N = 90 / 3 = 30 \text{ 枚}$			
		$W = \overset{\text{kg/m}}{11.8} \times \overset{L}{3.0} \times \overset{\text{枚}}{30} = 1.1 \text{ t}$			
交通管理工					
交通誘導警備員B		N = 20 人	人	20	

土 量 計 算 書

路線名：市道2338号線

路線名：市道2338号線 〔 1 / 2 〕

測 点	距 離	掘削 (m3)			床掘 (m3)			埋戻し (m3)			舗装版取り壊し (m2)		
		断面積	平均断面	土 量	断面積	平均断面	土 量	断面積	平均断面	土 量	幅員	平均幅員	平積
	(m)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m)	(m)	(m2)
No.0	0.000	0.5			1.7			1.7			1.1		
No.1	10.000	0.6	0.55	5.5	1.9	1.80	18.0	1.8	1.75	17.5	1.1	1.10	11.0
No.2	10.000	0.9	0.75	7.5	2.0	1.95	19.5	1.8	1.80	18.0	1.9	1.50	15.0
No.2 + 2.300	2.300	0.9	0.90	2.1	2.0	2.00	4.6	1.7	1.75	4.0	1.9	1.90	4.4
小計	22.300			15.1			42.1			39.5			30.4
合計	22.300			15.1			42.1			39.5			30.4

土量計算書

路線名：市道2338号線

[2 / 2]

[illegible]

工 事 特 記 仕 様 書

第1章 総 則

第 1 条(適用)

この特記仕様書は、千葉県土木工事共通仕様書(令和7年10月改定)(以下、「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

第 2 条(通則)

1. 本工事の受注者は、工事請負契約書、共通仕様書、設計書、本特記仕様書等および関係法規に基づいて施工しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工にあたり、常に監督員と連絡を密にし、工事内容に疑義を生じた場合には、速やかに報告しその都度監督員の指示を受けなければならない。

第 3 条(中間検査)

- ~~1. 本工事は、木更津市建設工事検査要領第3条第1号イに規定する中間検査の対象工事のため、下記の工種の完了後中間検査を実施する。~~

区 分	指定工種	項目・時期
道路	舗装	歩道舗装(路盤・表層)及び表面特殊舗装の施工出来形を合わせ、全体工事内容の1/3～1/2程度完了した時

第 4 条(設計変更)

設計変更等については、契約書第18条から第26条及び土木工事共通仕様書第1編共通編1-1-14から1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約に係る設計変更等ガイドライン令和4年4月」(木更津市)によることとする。

第 5 条(コリンズへの登録)

受注者は受注時又は変更時において工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は 工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。

なお、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督者に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものである。

第 6 条(施工管理)

1. 本工事の施工にあたっては、千葉県県土整備部が定める千葉県土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。
2. 工事写真管理は、千葉県土木工事施工管理基準に記載する写真管理基準による。
3. 工事写真の用紙は、厚み0.15mm 程度とし、写真用・インクジェット用等を使用するものとする。

第 7 条(工事中の安全確保)

1. 工事の施工にあたっては、道路工事保安施設設置基準に基づき適切な交通管理を行うものとする。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議するものとする。
2. 工事実施期間中は、公道の出入口等に誘導員を配置させ安全確保に努めなければならない。
3. 工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ道路灯、バリケード等の保安施設の安全点検を行うものとする。
4. 工事の施工に際し、事前に地下埋設物の調査を行い埋設物がある場合は、その管理者と発注者と受注者が現地立会のうえ、当該物件の位置深さ等を確認し、保安対策について十分打ち合わせを行い、事故の発生を防止しなければならない。
5. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、監督員に報告するとともに、関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
6. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置について占用企業全体と発注者と受注者が立会い、管理者を明確にしなければならない。

第 8 条(工事現場管理)

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 過積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
2. さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
3. 受注者は、ダンプトラックを使用する工事施工に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という。)の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進するように配慮するものとする。
4. 受注者は、下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
5. 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
6. 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行い、または、さし柵装着車、不表示車を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

7. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
8. 不法・違法無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
9. 以上のことにつき下請業者にも十分指導すること。

第 9 条(使用機械)

本工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。ただし、指定されていない建設機械を使用する場合は監督員と協議するものとする。

また、本工事においては騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督員の承諾を得なければならない。

第 10 条(安全訓練等の実施)

本工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について工事着手後原則として作業全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全訓練等を実施するものとする。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
2. 本工事内容等の周知徹底
3. 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
4. 本工事における安全対策訓練
5. 本工事現場で予想される事故対策
6. その他、安全訓練として必要な事項

第 11 条(安全訓練等に関する施工計画の作成)

施工に先立ち施工計画書に本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

第 12 条(安全訓練等の実施状況報告)

安全訓練等の実施状況を報告するものとする。

第 13 条(環境対策)

受注者は、千葉県が運用している環境マネジメントシステムの構成要素をなす「公共事業

における環境影響の低減」を推進し達成するため施工計画の環境対策内に独立した項目として「環境に配慮した工事の実施計画」について記載するものとする。

第 14 条(工期及び作業時間帯)

1. ~~本工事は、週休2日制適用工事である。~~
2. ~~週休2日制の実施にあたっては、「千葉県週休2日制適用工事実施要領(令和7年10月)版」に記載された方法に基づき行うこと。~~
3. ~~受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休2日(4週8休以上)達成相当の経費を補正している。~~
4. ~~昼夜間連続作業を行う工事等、現場閉所を行うことが明らかに困難な工事と認められる場合は、受発注者間で協議し週休2日交代制工事に変更することができる。~~
5. 工期は、雨天・休日等を見込み、令和9年2月 26 日までとする。
 - ・工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間	40日間
後片付け期間	20 日間
雨休率 ※休日と天候等による作業不能日を見込むための係数 $\text{雨休率} = (\text{休日数} + \text{天候等による作業不能日}) / \text{実働日数}$	0.78
その他の作業不能日 地元の催事など混雑や交通規制等を含むもの	—

- ・天候等による作業不能日は以下を見込んでいる。
 - イ)1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日:42日間／年間
 - ロ)8時から 17 時までの WBGT 値が 31 以上の時間を足し合わせた日数:5日間／年間
 - (少数第1位を四捨五入(整数止め)し、日数換算した日数)
 - (過去5か年(2021 年 1 月～2025 年 12 月)の気象庁(千葉特別地域観測所)及び環境省(千葉特別地域観測所)のデータより年間の平均発生日数を算出)

6. 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程(官積算)で 見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

なお、休日等には、日曜日・祝日・その他作業期間内の全土曜日を含んでおり、本工事において、交通規制を伴う工事の時間帯については9時から17時とする。

また、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

第 15 条(電子納品)

1. 本工事の成果品は電子納品とすることができる。電子納品とは、「調査、設計、工事な

どの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品要領(令和5年3月):(以下、「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。

2. 成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で正副2部提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品運用ガイドライン【土木工事編】(令和5年3月)」を参考にするものとする。
3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第16条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第2章 建設副産物

第17条(共通事項)

1. コブリス・プラスの登録対象工事については、当該工事に関する必要な情報を登録し、監督員へ書類の提出をすること。

なお、「建設副産物情報交換システム」と明示されているものについては、当面の間「コブリス・プラス」に読み替えるものとする。

「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」と合わせて提出するとともに、これからの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。

○作成対象工事

請負金額100万円以上のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び有無にかかわらず作成する。

2. 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
3. 建設廃棄物の処理を委託する場合は、運搬あるいは処理について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。
4. 建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督員に2部提出するとともに、実際に要した処理費等(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督員

に提出し確認を受けること。

5. 建設廃棄物の処理にあたっては、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式の場合は、複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、建設廃棄物引き渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷し提出すること。

第 18 条(建設発生土)

1. 本工事により発生する建設発生土は、(株)KCM(袖ヶ浦市川原井字南用瀬 286 番他)(片道距離 15.9km)に運搬する。

第 19 条(建設廃棄物)

1. 本工事により発生する As 殻及び Co 殻(有筋)は、(有)渡辺産業(袖ヶ浦市神納字大川端 1802-1)(片道距離 4.0 km)に運搬し、処理するものとする。
2. 本工事により発生するアスファルト舗装版等切断濁水は、(株)ダイキ(袖ヶ浦市南袖23番地8)(片道距離 6.7 km)に運搬し、処理するものとする。
3. 運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督員に報告するものとする。工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

第3章 建設リサイクル法

第 20 条(特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置)

1. 本工事が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という」に基づく対象建設工事である場合は、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

なお、建設工事請負約款の「解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、協議するものとする。

2. 受注者は特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告するものとする。

・再資源化等が完了した年月日

・再資源化等した施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

なお、書面に添付する資料は「建設リサイクルガイドラインに定めた様式1[再生資源利用計画書(実施書)]及び様式2[再生資源利用促進計画書(実施書)]を使用するものとする。

第 21条(請け負おうとする建設業者からの事前説明に関する事項)

1. 建設リサイクル法第12条で、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し対象建設工事の届出に関する事項に記載した書面(説明書)を提出し説明を行うこととする。
2. 書面の提出は、契約に先立って行うこととする。
3. 書面は施工計画書に添付するものとする。

第4章 材 料、品質管理、出来形管理

第22条(使用材料)

本工事に使用するアスファルト合材は溶融スラグ入りを使用すること。

第 23条(確認)

工事に使用する材料は、品質を証明する資料(品質証明書、成績表)を提出しなければならない。

第 24条(品質管理)

品質検査は、照合による検査(品質外観、品質規格証明等照合して判定することをいう)を原則とする。

工事材料について資料の提出、検査を前提に定めたが、JIS規格外等でこれによりがたい場合は、試験方法及び監督員の立会承諾等の有無など他の方法を明記した資料を提出すること。

第 25条(出来形管理)

~~共通仕様書の出来形管理基準に基づくアスファルト舗装工(表層工)において、コア採取及び平坦性試験は舗装施工面積が200m²を超える場合に適用する。~~

施工条件明示表

工事名 R 8 路肩整備工事（市道 2 3 3 8 号線）

工事箇所 木更津市長須賀 1 6 5 1 - 2 番地先

工程関係	施工計画書に則り工程管理を実施し、工期を遵守すること。
用地関係	境界には十分留意して施工し、近接地主と協調を保ち、いたずらに摩擦を起こさないようにすること。
公害対策関係	砂塵、水質汚濁、騒音等の問題が生じた場合は早急に対処し、環境保全につとめること。 木更津市環境保全条例に基づき、木更津市環境政策課に特定建設作業の届出を作業開始 7 日前までに行うこと。
安全対策関係	標識類、防護柵等の安全施設については、現場条件に応じて設置し、夜間も安全に通行できるよう対策を行うこと。 工事の際は、交通誘導員を適切に配置し、人や住宅等に十分注意し作業すること。 建設工事公衆災害防止対策要綱のとおり安全対策を行うこと。
工事用道路関係	一般道および民地に損傷等を与えない様に十分注意すること。また、損傷等が生じた場合は、請負者の責において原形に復旧すること。
建設副産物関係	関係法令を遵守すること。
工事支障物件等	本工事箇所は水道、N T T、ガス等の地下埋設物がある場合があるので、施工の際は損傷等を与えない様に十分留意すること。また、工事施工上の支障物件となり移設等が必要な場合は協議すること。 架空線下で作業する際は、三角旗等を設置し損傷等を与えない様に十分留意すること。
その他	住民が出入りを行う際は、速やかに作業を中断すること。 工事着手前に消防署及びクリーンセンターと協議すること。